

評価項目	評価項目No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.60	4.00	学校教育目標を具現化させるべく、合い言葉「ベストな環境でチャレンジ」を設定し、組織的に生徒一人一人を認め、伸ばす学校づくりに取り組んでいる。校区の小学校と連携したあいさつ運動、地域貢献部の積極的な地域行事への参加、学校だより、HP等での情報発信など学校教育目標の実現を図っている。PTA活動や地域と連携、協力を引き出す協議会等も充実させ、本校教育活動のさらなる発展につなげていく。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.45		前年度の取組を分析し、各校務分掌ごとに、目標達成に向けてPDCAサイクルにより取り組んだ。今年度、コロナ禍ではあったが、修学旅行、スキー教室を実施することができた。本校の特色である小中連携の取組や地域貢献の取組、運動会や系中祭等の体験活動を、規模を縮小させながらも工夫しながら充実させることができた。来年度も生徒の情操を育む行事を積極的に計画したい。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.65		新型コロナウイルス感染防止対策により、活動は制限されたが、地域貢献部は夏祭りやハワイアンショー等、様々なイベントに参加し、フラダンスと和太鼓を披露することができた。また、小中連携教育の推進研究を充実させ、あいさつ運動、出前授業、合同研修会等、特色ある教育活動を展開できた。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.50	4.00	今年度も英検、漢検、数検など、検定への取組の充実を図った。また、カゴスタやハイパーカゴスタを充実させ生徒たちの学力向上に組織的に取り組んだ。今後、生徒たちが自分の将来に関心をもち、夢の実現に向けて努力する気持ちを育む授業づくりに組織的に取り組みたい。
実質向上	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.60		不祥事の情報提供や不祥事防止標語の募集、ありがとうカードの実施など、服務規律の確保に向けて積極的に啓発を行った。また、校長が定期的に発行する校長室だよりの新聞記事等により不祥事防止に対する教職員の意識を高めた。教職員の共通理解を図り、事故防止への高い意識を共有することで風通しのよい職場づくりがなされている。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.65		若手教師の授業力を向上させるために、積極的に市内外の授業研究会等に参加を促している。また、定期的に校内研修を行い、教師の指導力の向上に組織的に取り組んでいる。校長、教頭が授業を参観し、授業を評価し指導力の向上に努めている。コロナ禍で、主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりには工夫を必要としたが、各授業で、課題の明確化と振り返りを充実させ、確実に力をつける授業づくりを目指した。
学力向上	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.40		コロナ禍で生徒同士の話し合い活動やグループ活動等が制限される中、生徒の実態を的確に捉え、生徒が主体的に取り組む授業づくりを工夫した。特に、一人一台のタブレット、ICTによる映像や音声教材の積極的な活用により、主体的で対話的で深い学びにつながる授業を目指し生徒の学力向上を目指した。今度、さらに教師の相互参観を進め授業改善を行い、生徒の学力向上に確実に近づきたい。
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.50		市教育委員会の授業の心得、三郷の授業づくりチェック10をもとに、課題の明確化や振り返りの充実をポイントとして、一時間一時間の授業で生徒たちに確実に力をつける授業づくりの徹底を図っている。また、ハイパーカゴスタ、カゴスタを通して、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、家庭学習は目標ページ数を設定し、計画的に取り組むよう全校で共通理解を図り指導している。
授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.55		今年度は小中連携をさらに推進し、小中9年間の連続的な学びを意識し全教職員が共通理解を図り授業を行った。三郷の授業づくり振り返りチェック10をもとに統一した指導を行い、授業規律の徹底を図っている。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.80	4.00	全教職員が、ひとりひとりの生徒に対し、親身になって丁寧に対応していることで生徒や保護者から篤い信頼を得ている。生徒の発言を認め賞賛する温かい雰囲気ですべての学級が経営されており、どの授業もとても落ち着いた雰囲気である。生徒の自己肯定感を育むことができている。
読書のまち 三郷	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.80	4.00	学校司書と連携し、国語科を中心に様々な教科で調べ学習を行い図書館を活用している。学校行事に關係するテーマごとの展示や図書委員による推薦図書の紹介、各フロアの新しい図書展示コーナーの設置、朝圖書を行うなど様々な工夫をしながら読書への興味・関心を喚起する取組を積極的に進めている。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.80	4.00	毎週、読み語りボランティアさんにお越しいただき、各クラス月1回の読み語り、朝の会を図書館で行う朝圖書、あじみ読書など、生徒が読書活動に親しみやすい工夫をしている。朝の読み語りには生徒の落ち着いた生活と読書への興味・関心を高めている。また朝圖書はたくさんの本と出合う良い機会となっている。
健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.35		各学級で担任を中心に給食時の配膳のマナーとルールについて指導を徹底している。今年度もコロナにより無言を徹底した給食になったが、おかわりの仕方等を含め、しっかりと管理ができていた。岩野木給食センターの栄養教諭にご指導いただいた食育指導は地産地消の理解や食事の大切さについての意識の向上につながった。今後も委員会活動を充実させて給食の残量の減少に努めたい。また、家庭科、保健体育科の授業においても食育指導を充実させたい。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.40	4.00	今年度もコロナ禍で、体育の授業や部活動の時間を制限しなければならない状況もあったが、体育科の教師が積極的に昼休みの外遊びを推進してくれた。また、部活動については、限られた時間を充実させようと顧問が熱心に指導し、生徒たちも意欲的に練習に取り組んだ。生徒たちには昼休みの外遊び等、積極的に校庭で体を動かすことを奨励しているが、学年により差もあるため、委員会活動等での働きかけも大切にしたい。
考え議論する道徳の推進	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.50		今年度も、系中スタイルで、学校全体で統一し、全教師がローテーションで道徳の授業を行った。各学級の子供たちの実態に即した教材を研究し寄り添った指導をしている。また、取り組んだ授業については、振り返りができるように教室に掲示している。クラスは心安らぐ場、他を認める場として、生徒たちが本音を語れる授業を目指して取り組んでいる。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.55		全教職員が、全教育活動を通して道徳性を養うという目標を共有し、生徒たちの道徳的な判断力や実践力を育てる努力をしている。特に道徳の授業だけでなく、各教科や学級活動、行事、部活動等すべての活動を通して、道徳的な判断力や実践力を育み、他者とともによりよく生きる態度の育成に努めている。
礼儀正しい児童生徒の育成	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.60		来校者や保護者・生徒達等に対しては常に丁寧な言葉をつかい親切に対応できるよう全教職員には共通理解を図っている。また、生徒・保護者から信頼されるよう教職員の身だしなみ等にも気を付けている。年度当初に全教職員が生徒指導の在り方について共通理解を図っている。教師の誠実な言行により生徒の規範意識は高い。教職員自らが率先垂範し、きれいな教室環境のもとで学習が進められるようにしている。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.80	4.00	全教職員が、自ら率先して、生徒や保護者にあいさつをするよう共通理解を図っている。登下校時の正門でのあいさつ運動はもとより、日頃の学校生活全般において友達や来校者へのあいさつを大切にしよう指導している。現在、廊下ですれ違った生徒たちは元気に挨拶ができる。彦系中学校区地域青少年育成会の取組も継続し、小中連携してあいさつ運動に取り組んでいる。今年度も新型コロナウイルスの感染拡大により実施できない日があったが、今後も伝統を継承し、自然にあいさつができる生徒を育てたい。

指導・管理の状況	生徒指導	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.50		本校の教職員は生徒たちの気持ちに寄り添い、穏やかで丁寧な言葉づかいを意識し、話し方や接し方に十分気を付け指導している。現在、保護者の協力により、生徒たちは教師等、大人に対して、しっかりとした態度、丁寧な言葉遣いで話をする事ができる。すべての教師がそれぞれの立場をしっかりと理解し、生徒たちとよりよい人間関係を築いている。
		20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.45		生徒指導委員会、教育相談委員会、運営委員会で情報交換しながら、SC、さわやか相談員をはじめ、第3教育相談室とも緊密に連携を取り、常に情報共有しながらそれぞれの生徒の実態にあわせ組織的に対応している。常に組織的に迅速、丁寧な対応ができるように教師同士が声をかけ合っている。
		21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.70		子供たち一人一人の状況に応じた丁寧な対応を心がけ、欠席生徒への連絡や長欠生徒への家庭訪問など、各家庭の状況等に寄り添った指導を行っている。学校全体としてはとても落ち着いた生活ができています。学校だより、HP、メール配信により情報を発信し、保護者との連携を図るとともに、吉川警察署、児童相談所、市役所の子育て支援課など外部諸機関とも連携を図っている。
		22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.80	4.00	道徳の授業や学級活動、日常の教育活動の成果により、生徒は互いの良さを認め尊重する意識が高い。ほとんどの生徒が友達のことを考え、しっかりとした態度で生活を送っている。部活動、学級活動、奉仕活動など教育活動全体を通して生徒たちの自信や誇りを育てることができている。いじめについて、毎日の生活記録ノートや月1回の生活アンケートや、日常の観察などから、生徒の心の変容を把握し、問題の早期発見に努めている。
安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.45		危機管理マニュアルを見直し、交通事故、いじめ、不審者、不登校、信用失墜行為、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の疾病、大地震等の非常変災等に加え水害にも対応できる体制を整えている。週休日や長期休業中の部活動等における事故対応についても、全教職員が報告・連絡・相談を徹底し、組織的に動けるように共通理解を図っている。	
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.45	4.00	原則として、毎月21日に養護教諭が安全点検表を職員に配付し、安全点検を実施している。生徒の学校生活に支障をきたしている項目については、早期の対応を心がけ修繕している。また、教職員が修繕等を行えないものについては業者や教育総務課に対応をお願いし、安心、安全な教育環境を整備するよう心がけている。	
教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.45	4.00	管理職や教職員の環境美化活動、生徒たちの無言清掃など、日々の美化活動に対してしっかりと取り組んでおり、校内はきれいである。毎日の指導の積み重ねで生徒たちも静かに取り組む姿勢が育っている。職員室前廊下、各学年のフロアに生徒たちの活動の様子が伝わる掲示物を展示し、定期的に張り替え、潤いのある環境づくりを心掛けている。	
	26	学校は、教職員が児童生徒と向き合うため、働き方改革を進めている。	3.25		業務内容の精選、業務の効率化を図るとともに各分享の仕事を組織的に行う事で負担軽減を図っている。また、ふれあいデーやリフレッシュデーなどを導入し、働き方改革を進めている。以前よりは改善傾向にあるが、いまだに多くの教職員が超過勤務傾向である。教職員の意識改革等も含め、さらに工夫が必要である。	
家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.85	4.00	今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により学校行事の中止や縮小はあったが、平日のホームページ更新と月1回の学校だより発行により、学校の教育活動を発信し、子供たちの活躍と授業等の様子について、保護者や地域に伝えることができた。各学年も週に一度学年通信を発行、各学級担任も学級通信を発行して各学年、学級の様子を伝えている。今後もホームページを充実させ、視聴者を増やしたい。	
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.35	3.29	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、家庭科の保育実習、親になるための学習等(赤ちゃんだっこ体験)ができなかった。今年度も、親になるための学習(性に関する指導)は全学年で行う予定である。学校応援団等の活動についてはPTA役員を中心に資源回収活動などを行った。	
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.45	4.00	教職員はPTA活動にとっても積極的である。今年度、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、地域のイベント等の開催が中止され、地域に貢献する活動があまりできなかったが、8月には鷹野文化会館でハワイアンショーに出演した。また、地域の夏祭りにもゲストとして参加し、和太鼓とフラダンスを堂々と披露した。今後も地域の活動に積極的に協力したい。	

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。